

テーマのまちづくり方針に対する市民の満足度	方針に基づく基本的な考え方	将来目標指標（20年後）	取組の柱	進捗管理指標（5年後）	総合計画や個別計画等の指標候補 ※総計の指標に係る詳細は別紙
<p>安全・安心</p> <p>「日常生活のなかで災害が発生しても、被害を最小限に留め、素早く確実に復旧できる、防災・防犯ともに備えができていて安全・安心に暮らせるまち」になっている感じる市民の割合の増加</p>	<p>①災害に備える</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地で地震や風水害が頻発するなか、災害発生前の備えとして、災害のおそれがある地域の解消や、危険な区域から安全な区域への居住誘導を進めます。 また、老朽化したインフラを災害にも耐えられるように更新するほか、災害時の被害を拡大させかねない環境にある住宅地の改善に取り組みます。 	<p>防災上、危険性が懸念される地域に居住する人口割合の減少</p> <p>※その他候補： 災害での死者数ゼロ</p>	①災害リスクの低減・回避	<p>防火・準防火地域の新規指定地区数（地区）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 開発事業件数に対する雨水流出抑制施設設置割合（第5次総合計画） 防災上、危険性が懸念される地域に居住する人口（立地適正化計画） 雨水貯留施設の整備（雨水管理総合計画） 市内の災害レッドゾーンの指定地区数（指定解消による減）（防災指針） 安全性が確認された大規模盛土造成地の個所数（防災指針） 市内の不燃領域率が40%未満の地区数（防災指針） 地域防災計画の推進に関する満足度（市政モニターアンケート） 集中豪雨などによる浸水被害の軽減対策の取組に対する満足度（市政モニターアンケート）
			②インフラの強化		<ul style="list-style-type: none"> 市内給水の幹線となる基幹管路の耐震化率（上水道）（第5、6次総合計画） 下水道マネジメント計画に基づき、老朽化管渠の修繕改築工事延長（下水道）（第5、6次総合計画） 上下水道などのインフラ、公共施設などの計画的な耐震化・老朽化対策の取組に対する満足度（市政モニターアンケート）
			③災害に強い生活環境への改善	<p>防火・準防火地域の新規指定地区数（地区）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市内給水の幹線となる基幹管路の耐震化率（上水道）（第5、6次総合計画） 目標年次において指定している防火地域・準防火地域の地区数（第5次総合計画） 防火・準防火地域の新規指定地区数（立地適正化計画） 適切な管理が行われていない空き家の情報提供に対する解決割合（第6次総合計画） 上下水道などのインフラ、公共施設などの計画的な耐震化・老朽化対策の取組に対する満足度（市政モニターアンケート） 市内の住宅の耐震化率（建築物耐震改修促進計画）
	<p>②災害が発生しても円滑に復旧できる準備を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害が発生した時にも滞りなく避難し円滑に復旧できるように、事前対応として防災拠点の整備・充実、避難場所や避難経路、緊急輸送道路の確保に取り組みます。 	<p>都市計画道路のうち無電柱化された路線数及び防災拠点の増加</p> <p>※その他候補： 指定予定の緊急輸送道路の全線開通、都市計画道路の整備率100%</p>	④災害時の核となる防災拠点の形成		<ul style="list-style-type: none"> 防災拠点となる都市公園の整備箇所数 オープンスペース確保率 人口一人当たりに対する有効避難面積
			⑤避難・救助しやすい道づくり	<p>都市計画道路の整備率（%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 避難路・輸送道路確保のため無電柱化した道路長さ（無電柱化推進計画） 旧暫定調整区域の幅員6m未満区画道路拡幅整備率（区画道路の道路整備計画） 地震災害時の避難路や緊急輸送路となる幹線道路の整備に対する満足度（市政モニターアンケート）
			⑥物資や人を運びやすい道づくり		<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路の無電柱化率 緊急輸送道路の指定延長 拠点間の無電柱化の検討路線数（無電柱化計画）
	<p>③日常の生活から「もしも」を見据えた環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活から災害や犯罪、事故等による「もしも」に備えたフェーズフリー（日常と非日常を区別せず、身の回りにあるものを日常でも非日常でも役立つ考え方）なまちづくりや体制づくりに取り組みます。 	<p>市内における人口1,000人当たりの刑法犯罪認知件数の減少</p>	⑦日常から災害に備えるまちづくり		<ul style="list-style-type: none"> 地域防災計画に基づき市が備蓄すべき必要な総数（想定避難者数の1.5日分の備蓄食料確保率）（第5次総合計画） 消防団員（138名）に対する充足率（第5、6次総合計画） 地区防災計画の策定率 防災訓練の参加者数 災害用かまどベンチを導入した公園数（村沢）
			⑧犯罪や事故の芽を摘む環境づくり	<p>所有者不明の管理不全空き家等の数（件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県警察本部が公表した市内における刑法犯認知件数（第5、6次総合計画） 適切な管理が行われていない空き家の情報提供に対する解決割合（第6次総合計画）
			⑨共助の体制強化		<ul style="list-style-type: none"> メール配信サービスに登録している住民の数（第5次総合計画） 町内会が管理する防犯灯のLED灯への年間改修灯数 自主防災組織の結成率（%）（第6次総合計画） <p>※自治会・町内会等に対する自主防災組織の結成率</p>

	テーマのまちづくり方針に対する市民の満足度	方針に基づく基本的な考え方	将来目標指標（20年後）	取組の柱	進捗管理指標（5年後）	その他個別計画等の指標候補
自然・環境	「みどりのある朝霞らしい風景を守り、親しみ、未来の子どもたちに胸を張って残せる持続可能な自然豊かで環境にやさしいまち」になっていると感じる市民の割合の増加	<p>①持続可能な未来につながる気候変動に対応する</p> <p>・気候変動の要因となる環境負荷をまちづくりの観点からも減らしていきます。また、災害級の暑熱対策にも資することから、環境にやさしい公共空間や住宅の整備を目指します。</p>	<p>温室効果ガス排出量の削減率の増加</p> <p>※その他候補： 移動手段に自動車以外を選択する割合の増加</p>	<p>①環境配慮の視点からも選択できる移動手段の確保</p> <p>②環境にやさしい公共空間の整備</p> <p>③環境にやさしい住宅の整備促進</p>	<p>市内循環バスの年間利用者数（人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアサイクル年間利用者数 ・循環型社会の構築に向けた市民と行政が一体となった取組の推進の取組に対する満足度（市政モニターアンケート）
		<p>②豊かな自然を育みつなぐ</p> <p>・市街地開発等が進む中であっても、朝霞らしさの源泉であるみどりを守ります。また、豊かなみどりを支える仕組みや担い手を育てつなげることも重要です。そしてみどりを楽しむ暮らしを広め、みどりも増え、つながっていくまちを目指します。</p>	<p>市内の緑地面積の増加</p>	<p>④暮らしを支え豊かにするみどりの保全・育成</p>	<p>公園・緑地管理ボランティア団体数（団体）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全域の緑被面積の割合（第5、6次総合計画） ・特別緑地保全地区の指定面積拡大（みどりの基本計画） ・都市公園の整備水準（みどりの基本計画） ・緑被率 ・生産緑地・特定生産緑地制度の指定面積 ・耕作放棄地面積 ・植栽（街路樹・公園樹木）管理計画の策定 ・自然と調和した適正な土地利用の促進に対する満足度（市政モニターアンケート）
		<p>③朝霞らしい風景を守り育てる</p> <p>・都心近郊でありながら、みどりに恵まれた朝霞らしい風景や歴史的文化資源を、市民や事業者と協力しながら維持向上できるよう誘導します。</p>	<p>景観の取組に対する満足度の向上</p>	<p>⑦協働による景観づくり</p>	<p>公園・緑地管理ボランティア団体数（団体）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全域の緑被面積の割合（第5、6次総合計画） ・道路美化活動団体数 ・市民との協働による河川環境や樹林地、湧水、公園緑地などの保全・活用の取組（市政モニターアンケート）
		<p>③朝霞らしい風景を守り育てる</p> <p>・都心近郊でありながら、みどりに恵まれた朝霞らしい風景や歴史的文化資源を、市民や事業者と協力しながら維持向上できるよう誘導します。</p>	<p>景観の取組に対する満足度の向上</p>	<p>⑧みずみずしい風景を生かした自然環境への誘導</p>	<p>景観づくり重点地区の指定数（地区）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全域の緑被面積の割合（第5、6次総合計画） ・黒目川における官民連携イベント実施回数 ・まちの活性化を図るため、市民と市の協力によるまちの魅力（文化・感情・ひと）の発信（市政モニターアンケート） ・景観づくり団体数 ・地域の特色を生かした美しい景観の保全・創出（市政モニターアンケート） ・自然と調和した適正な土地利用の促進に対する満足度（市政モニターアンケート）

テーマのまちづくり方針に対する市民の満足度	方針に基づく基本的な考え方	将来目標指標（20年後）	取組の柱	進捗管理指標（5年後）	その他個別計画等の指標候補
<p>「多様な移動手段でつながる、安全で快適な移動環境のある、人にやさしい交通アクセスのよいまち」になっていると感じる市民の割合の増加</p>	<p>①まちの骨格となる幹線道路の交通流を円滑にする ・人とモノの移動どちらにも重要な幹線道路は、未整備区間の整備によるネットワークの充実を図るとともに、既存道路の改良を行い、自転車も含めた交通流の円滑化を図ります。</p>	<p>市内幹線道路の渋滞の解消 ※その他候補： 都市計画道路の整備率100%</p>	<p>①幹線道路の整備 ②既存道路の改良 ③自転車で走りやすい道づくり</p>	<p>都市計画道路の整備率（%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長期未整備都市計画道路の見直し路線数 ・重要物流道路の整備率 ・道路や橋梁の改修率 ・バリフリー化率 ・誰もが歩きやすい歩道の整備や生活道路の安全確保の取組に対する満足度（市政モニターアンケート） ・既存都市計画道路への自転車通行空間の表示路線数 ・自転車通行空間の整備延長 ・自転車関連事故数
	<p>②身近な生活道路の安全を守る ・身近な生活道路の安全性をさらに高め、市街地内の物流や駐車的需求を適切にコントロールすることにより、本市に暮らす付加価値を高め、子どもや高齢者をはじめとする市民の暮らしを守ります。</p>	<p>通学路における事故発生件数ゼロ</p>	<p>④安全に生活できる身近な道づくり ⑤子どもの未来を守る通学路づくり</p>	<p>歩道の整備延長（m）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旧暫定逆線引き地区の区画道路の整備済み延長と整備率（第5次総合計画） ・ゾーン30+の指定数（立地適正化計画） ・交通の安全性・利便性・マナー向上の取り組みの満足度（地域公共交通計画） ・朝霞駅南口周辺地区交通安全対策としてのハンプ・スモース横断歩道の整備箇所数 ・誰もが歩きやすい歩道の整備や生活道路の安全確保の取組に対する満足度（市政モニターアンケート） ・旧暫定逆線引き地区の区画道路の整備済み延長と整備率（第5次総合計画） ・ゾーン30+の指定数（立地適正化計画） ・歩道橋の改修率 ・交通の安全性・利便性・マナー向上の取り組みの満足度（地域公共交通計画） ・誰もが歩きやすい歩道の整備や生活道路の安全確保の取組に対する満足度（市政モニターアンケート）
	<p>③自由な移動を支える ・本市のコンパクトな都市構造を生かし、多様な移動手段を確保することで、さらに生活の利便性や暮らしの質を高めます。</p>	<p>公共交通利用圏域における人口カバー率の増加 ※その他候補： 公共交通空白地区の解消</p>	<p>⑦どこに住んでいても自由に移動できる多彩な移動手段の充実 ⑧人中心の歩きたくなる道づくり</p>	<p>市内循環バスの年間利用者数（人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通空白地区の改善数（立地適正化計画） ・シェアサイクル年間利用者数 ・路線バス・市内循環バスの利用者数維持（地域公共交通計） ・放置自転車の撤去数 ・コミュニティバス運行や路線バスとの連携による公共交通ネットワークの充実に対する満足度（市政モニターアンケート） ・歩道整備延長（第5、6次総合計画） ・朝霞駅南口駅前通りの歩行者交通量（人／時間）（第6次総合計画、立地適正化計画） ・バリアフリーの着手率（特定事業等の着手率） ・まちなかベンチの設置数 ・移動手段として自動車以外を選択する割合（PT調査） ・障害のある人に配慮した道路・建物・駅などの整備の不満足度（第5次総合計画）

テーマのまちづくり方針に対する市民の満足度	方針に基づく基本的な考え方	将来目標指標（20年後）	取組の柱	進捗管理指標（5年後）	その他個別計画等の指標候補
にぎわい・活力	<p>①にぎわいと活力のある駅前拠点をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人やモノ、情報が集まり、にぎわいと交流の拠点づくりを進めることで、都市の魅力向上や産業の活性化を促進し、市民が誇れる朝霞市を目指します。 ・市の中心拠点である駅周辺や商店街等、にぎわいが生まれやすい場所の活力を高めます。また、安全で楽しく歩きやすい歩行空間となるよう、ウォーカブルな空間の整備と活用を進めます。 	<p>都市機能誘導区域における小売り事業所数の増加</p>	①朝霞駅周辺の活気あるまちづくり	<p>滞在快適性等向上区域のまちなかベンチの数（基）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞駅南口駅前通りの歩行者交通量（人／時間）（第6次総合計画、立地適正化計画） ・人口1000人あたりの小売事業所売り場面積（立地適正化計画） ・朝霞駅の乗降客数 ・公共空間や地域資源を活かしたイベント等の実施回数 ・歩きたくなるウォーカブル推進モデルゾーンの人口密度 ・朝霞駅周辺の公共空間における官民連携によるイベント開催箇所数 ・まちの活性化を図るため、市民と市の協力によるまちの魅力（文化・感情・ひと）の発信（市政モニターアンケート）
			②北朝霞・朝霞台駅周辺の活気あるまちづくり		<ul style="list-style-type: none"> ・人口1000人あたりの小売事業所売り場面積（立地適正化計画） ・北朝霞・朝霞台駅の鉄道の乗降客数 ・公共空間や地域資源を活かしたイベント等の実施回数 ・歩きたくなるウォーカブル推進モデルゾーンの人口密度 ・北朝霞・朝霞台駅周辺の公共空間における官民連携によるイベント開催箇所数 ・まちの活性化を図るため、市民と市の協力によるまちの魅力（文化・感情・ひと）の発信（市政モニターアンケート）
			③誰もが楽しく歩ける空間の整備		<ul style="list-style-type: none"> ・歩道整備延長（累計）（m） ・公共空間や地域資源を活かしたイベント等の実施回数 ・誰もが歩きやすい歩道の整備や生活道路の安全確保の取組に対する満足度（市政モニターアンケート）
	<p>「四季折々のイベントが充実し、笑顔が絶えないワクワクするまち、鉄道駅や道路ネットワーク・地域資源を生かしたにぎわいと活力のまち」になっていると感じる市民の割合の増加</p>	<p>②安心して産業活動ができる環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元産業が活性化し、持続できる環境を確保することにより、持続的ににぎわいや活力の創出を図ります。 ・国道254号や国道254号バイパスの沿道等は、流通の面での立地特性を生かし、大規模な工場跡地等は、産業用地の立地特性を生かして、新たな産業の誘致と育成を図ります。 	<p>254号バイパス沿道における企業誘致（内間木地域）</p> <p>※その他候補： 工業系土地利用の面積の増加</p>	④工業系地域における居住環境にも配慮した生産環境の確保	<p>工業系地域及び国道沿いにおける地区計画の地区数（地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業地域内での道路拡幅延長 ・工場における緩衝緑地の整備箇所数 ・住工混合率（工業地域内の住宅の割合）
				⑤企業と市民で共につくる地域経済の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と行政の連携協定数 ・あさか産業フェア来場者数（第6次総合計画） ・商工会加入率（第6次総合計画）
				⑥立地特性を生かした戦略的な産業の誘致・育成	<p>工業系地域及び国道沿いにおける地区計画の地区数（地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致件数（件）（第6次総合計画） ・あずま南地区土地区画整理事業整備進捗率（第5、6次総合計画） ・産業集積に係る土地利用のための庁内検討会開催回数（第5次総合計画） ・市民が買い物に利用できる施設の誘致件数（第5次総合計画） ・企業立地相談件数 ・国道254号バイパス沿道の活性化に向け、民間活力を活用した内間木公園拡張整備状況
	<p>③地域資源を生かして活力を創出する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒目川や基地跡地、川越街道の宿場等の自然環境や歴史・文化資源、空き地、空き家、地域の商店街等の地域資源を活用し、にぎわいづくりや地域資源の活性化を図ります。 	<p>商店街における小売事業所数の増加</p>	⑦自然環境や歴史・文化資源を生かしたにぎわいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・景観づくり団体によるイベント実施数 ・国道254号バイパス沿道の活性化に向け、民間活力を活用した内間木公園拡張整備状況 ・朝霞のあゆみを後世につたえていくための地域の歴史や伝統文化の継承・保護の取組に対する満足度（市政モニターアンケート） 	
			⑧潜在するポテンシャルを活かした地域経済の活性化	<p>空き家バンクの活用による店舗・事務所の立地（件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街活性化事業実施数（回）（第5、6次総合計画） ・市の支援による空き店舗の活用件数（第5次総合計画） ・産業集積に係る土地利用のための庁内検討会開催回数（第5次総合計画） ・既存商店街の空や空き店舗を活用したりノベーションの実施件数 ・あさか産業フェア来場者数（第6次総合計画） ・商工会加入率（第6次総合計画） ・認定特定創業支援等事業により支援を受けたことの証明を発行した事業者数（第6次総合計画） ・消費者ニーズに対応できる商業の進行、商店街の活性化の取組に対する満足度（市政モニターアンケート） 	

テーマのまちづくり方針に対する市民の満足度	方針に基づく基本的な考え方	将来目標指標（20年後）	取組の柱	進捗管理指標（5年後）	その他個別計画等の指標候補	
私らしき暮らし	<p>①市街地と自然をつなぐ、選択肢のある住環境を整える</p> <p>・都心近郊の都市でありながら、武蔵野台地や河川等の豊かな自然が残る、多様な住環境は本市の魅力の1つです。</p> <p>・市内には、利便性の高い市街地や自然環境を生かした住環境等、それぞれ特色のある地域が共存しており選択肢のある住環境の多様性を伸ばしていきます。</p>	<p>これからも朝霞に住みたいと思う人の割合の増加</p> <p>※その他候補： 市内人口に占める居住誘導区域の人口割合の増加</p>	①歩きたくなる地域づくり	<p>都市公園の整備水準（1人当たりの都市公園の面積）（㎡/人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道整備延長（累計）（m） ・人口1000人あたりの小売事業所売り場面積（立地適正化計画） ・公共空間や地域資源を活かしたイベント等の実施回数 ・歩きたくなるウォーカブル推進モデルゾーンの人口密度 ・朝霞駅周辺の公共空間における官民連携によるイベント開催箇所数 ・誰もが歩きやすい歩道の整備や生活道路の安全確保の取組に対する満足度（市政モニターアンケート） 	
			②利便性と自然が調和したゆとりのある地域づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・市内人口に占める居住誘導区域の人口割合 ・生産緑地・特定生産緑地制度の指定面積 ・目標年次において指定している防火地域・準防火地域の地区数（第5次総合計画） ・防火・準防火地域の新規指定地区数（立地適正化計画） 	
			③みどりに恵まれた地域づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色を生かした美しい景観の保全・創出（市政モニターアンケート） ・自然と調和した適正な土地利用の促進に対する満足度（市政モニターアンケート） 	
	<p>「自然と利便性が共存するコンパクトな住宅都市であることを生かし、私らしくいきいきと暮らせる、活躍できるまち」になっていると感じる市民の割合の増加</p>	<p>②暮らしを支える生活サービスの質を高める</p> <p>・多様な文化に触れたり、利便性・快適性を高めたりして暮らしの質（QOL=quality of Life）を高めるため、朝霞市民全体のためのサービスと地域それぞれの日常生活を支えるサービスの両面から、それらを提供する都市機能の充実を図っていきます。また、都市機能を整備、更新していくために既存のストックも活用しながら賢く確保していきます。</p>	<p>都市機能誘導区域における小売り事業所数の増加</p>	④市民全体の暮らしを支える広域サービスの確保・充実	<p>駅周辺の地区計画により増加した店舗・事業所数（1階のみ）（件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞台駅の建て替えと合わせた駅周辺の公共施設の機能配置の検討の推進 ・地区計画の地区数 ・都市機能誘導区域への公共交通ネットワークカバー率 ・基地跡地の整備の進捗状況 ・公共施設の延べ床面積 ・国道254号バイパス沿いの企業立地件数
				⑤身近な地域サービスの確保・充実		<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活施設（スーパー、コンビニ、診療所、クリニック、郵便局、銀行）の徒歩圏カバー率 ・都市機能誘導区域内の人口割合 ・行政オンライン手続きの利用件数
				⑥既存の土地や建物を活用した生活サービスの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクの活用による店舗・事務所の立地（件） ・公共施設の延べ床面積
	<p>③私らしくいられる場や活躍できる場をつくる</p> <p>・私らしい暮らしを実現するためには、住まいやその周辺環境だけでなく、他者と触れ合える場や私らしくいられる場、私らしく働ける機会も必要であることから、多様な方々と交流できる場や居心地よく過ごせる空間、活躍できる機会を創出していきます。</p>	<p>【再掲】これからも朝霞に住みたいと思う人の割合の増加</p>	⑦オープンスペースの創出と利活用	<p>官民連携により利活用される公共空間の個所数（箇所）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公共空間を活用したイベントの実施件数 ・空き家バンクの活用による店舗・事務所の立地（件） 	
			⑧私らしく働く場、活躍できる場の確保		<ul style="list-style-type: none"> ・転入者数（又は人口動態における社会増減の割合） ・歩行者利便増進道路の指定数 ・居住支援相談の満足度（第6次総合計画） 	
			⑨多様な主体の共創による新たな価値の創出		<ul style="list-style-type: none"> ・企業や大学等と行政の連携協定数 	

■庁内調整を踏まえた、全体構想及び地域別構想の取組の追加・修正

市民コメントに提示した素案をもとに庁内調整を行い、全体構想及び地域別構想に位置づけた取組の確認を行った。庁内からの意見を踏まえ、以下のとおり本編を修正した。

<安全・安心>

	該当箇所	修正内容	修正した理由
1	地域別構想 西部地域 (P.97)	・以下の取組を追加 「防火・準防火地域の指定による防火対策の推進」	・他の地域の記述と合わせるため

<自然・環境>

	該当箇所	修正内容	修正した理由
2	地域別構想 東部地域 (P.88)	・以下の取組を追加 「既存公園（城山公園や根岸台自然公園）等、まとまったみどりの保全や維持管理の充実・有効活用」	・他の地域の記述と合わせるため
3	地域別構想 西部地域 (P.98)	・取組の表現を「公園・児童遊園地等の、まとまったみどりの保全や維持管理の充実・有効活用」から「既存公園（南割公園や弁財公園）等、まとまったみどりの保全や維持管理の充実・有効活用」に修正	・他の地域の記述と合わせるため
4	地域別構想 南部地域 (P.108)	・以下の取組を追加 「既存公園（青葉台公園や滝の根公園）等、まとまったみどりの保全や維持管理の充実・有効活用」	・他の地域の記述と合わせるため
5	地域別構想 北部地域 (P.78)	・既存の取組に赤字の表現を追加 「生き物が集う緑地や <u>宮戸</u> 特別緑地保全地区の保全」	・具体的な取組の場所を明確にするため
6	地域別構想 東部地域 (P.88)	・既存の取組に赤字の表現を追加 「生き物が集う緑地や斜面林、 <u>岡・郷戸・新屋敷</u> 特別緑地保全地区、湧水の保全」	・具体的な取組の場所を明確にするため
7	地域別構想 西部地域 (P.98)	・既存の取組の表現を以下に修正 「生き物が集う緑地、湧水の保全」	・西部地域に「特別緑地保全地区」が存在しないため削除
8	地域別構想 南部地域 (P.108)	・既存の取組の表現を以下に修正 「生き物が集う緑地の保全」	・「湧水」は他の取組で記述があるため削除
9	地域別構想	・既存の取組に赤字の表現を追加	・具体的な取組の場所を明

	南部地域 (P.108)	「貴重な湧水である広沢の池や滝の根公園などの保全」	確にするため
10	地域別構想 北部地域 (P.78) 東部地域 (P.88) 西部地域 (P.98) 南部地域 (P.108)	・ 北部、東部、西部、南部に以下の取組を追加 「関係団体と連携した河川の保全・維持管理」	・ 他の地域の記述と合わせるため
11	全体構想 取組の柱④ (P.36)	・ 既存の取組に赤字の表現を追加 「水辺空間の保全・活用やウォークアブルな空間整備」	・ ウォークアブルの要素を表現した方がよいとの意見を踏まえ表現を追加
12	地域別構想 北部地域 (P.78)	・ 既存の取組の表現を赤字に修正 「黒目川や新河岸川の水辺空間の保全や市民との協働による活用」	・ ご指摘を踏まえ、「利活用」を「活用」に表現を修正
13	地域別構想 北部地域 (P.78) 東部地域 (P.88)	・ 以下の取組を追加 「市民との協働による桜並木の適切な維持管理」	・ 他の地域の記述と合わせるため
14	地域別構想 東部地域 (P.88)	・ 既存の取組の表現に赤字を追加 「みどりの拠点の形成・利活用（特別緑地保全地区）」	・ ご意見を踏まえ、取組の表現を見直し
15	地域別構想 北部地域 (P.78)	・ 以下の取組を追加 「みどりの拠点の形成・利活用（特別緑地保全地区）」	・ 他の地域の記述と合わせるため
16	地域別構想 西部地域 (P.98)	・ 以下の取組を追加 「みどりの拠点の形成・利活用」	・ 他の地域の記述と合わせるため
17	地域別構想 北部地域 (P.78)	・ 既存の取組の表現に赤字を追加 「市道2号線の街路樹の育成や沿道の緑化による川と川をつなぐ、みどりの軸の形成・利活用」	・ 具体的な取組の場所を明確にするため
18	地域別構想 北部地域 (P.78)	・ 既存の取組の表現に赤字を追加 「朝志ヶ丘や宮戸地区等での開発事業等における緑化や広場・公園の設置指導」	・ 具体的な取組の場所を明確にするため
19	地域別構想 西部地域 (P.98)	・ 既存の取組の表現に赤字を追加 「三原地区や東弁財地区等での開発事業等における緑化や広場・公園の設置指導」【審議会後反映】	・ 具体的な取組の場所を明確にするため
20	地域別構想 東部地域 (P.88)	・ 以下の取組を追加 「駅周辺等での開発事業等における緑化や広場・公園の設置指導」【審議会後反映】	・ 他の地域と記述を合わせるため

21	地域別構想 南部地域 (P.108)	・以下の取組を追加 「住宅地等での開発事業等における緑化や広場・公園の設置指導」【審議会後反映】	・他の地域と記述を合わせるため
22	地域別構想 内間木地域 (P.68)	・取組の表現を「市街化調整区域の資材置場等による周辺環境の悪化抑制等、景観に配慮した土地利用の誘導」から「市街化調整区域における周辺環境や景観に配慮した土地利用の誘導（資材置場の抑制等）」に修正	・ご指摘を踏まえ、表現を見直し

<快適な移動>

	該当箇所	修正内容	修正した理由
23	地域別構想 内間木地域 (P.69)	・既存の取組の表現に赤字を追加 「国道、県道及び主要市道等の安全で連続した歩行空間や自転車通行空間の確保」	・他の地域の記述と合わせるため
24	地域別構想 西部地域 (P.99)	・以下の取組を追加 「安全で連続した自転車通行空間の確保」	・他の地域の記述と合わせるため
25	地域別構想 南部地域 (P.109)	・取組の表現を「市道1号線の連続した歩行空間の確保」から「国道、県道及び主要市道等の連続した歩行空間の確保」に修正	・他の地域の記述と合わせるため
26	地域別構想 北部地域 (P.79)	・既存の取組の表現に赤字を追加 「 <u>県道及び主要市道等</u> における連続した歩行空間の確保」	・他の地域の記述と合わせるため
27	地域別構想 内間木地域 (P.69)	・以下の取組を追加 「ゾーン30・ゾーン30プラスエリアの指定による面的な交通安全対策」	・他の地域の記述と合わせるため
28	地域別構想 内間木地域 (P.69)	・既存の取組の表現を以下に修正 「通学路や危険な交差点等における安全対策の充実」	・「(ゾーン30の指定等)」は他の取組で表現しているので削除
29	地域別構想 東部地域 (P.89)	・既存の取組の表現に赤字を追加 「地域と連携した多様な移動手段の検討 (<u>根岸台地区における、わくわくワゴン等</u>)」	・他の地域の記述と合わせるため

<にぎわい・活力>

	該当箇所	修正内容	修正した理由
--	------	------	--------

30	地域別構想 東部地域 (P.90)	<ul style="list-style-type: none"> 取組「地域資源（歴史的・文化資源や湧水等）を活用したイベント等を官民連携で実施」の全体構想との対応を「全①」から「全⑦」に修正 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘を踏まえ修正
31	地域別構想 南部地域 (P.110)	<ul style="list-style-type: none"> 既存の取組の表現に赤字を修正 「市役所をはじめ、主要な公共施設の立地を生かし、朝霞駅前の活性化と連動した回遊性の高い歩道・広場の設置や充実等により中心拠点としての魅力向上」 	<ul style="list-style-type: none"> 全体構想と表現を統一するため
32	地域別構想 南部地域 (P.110)	<ul style="list-style-type: none"> 以下の取組を追加 「駅周辺における空き地や空き店舗等を活用した都市機能の充実や、建物1階部分（アイレベル）のオープン化による歩いて楽しい空間の形成」 	<ul style="list-style-type: none"> 他の地域（東部地域）の記述と合わせるため
33	地域別構想 内間木地域 (P.70)	<ul style="list-style-type: none"> 以下の取組を追加 「地域内に立地する企業等との連携・協働（地域に配慮した空間形成）」 	<ul style="list-style-type: none"> 他の地域の記述と合わせるため
34	地域別構想 北部地域 (P.80)	<ul style="list-style-type: none"> 以下の取組を追加 「地域内に立地する企業等との連携・協働（地域に配慮した空間形成）」 	<ul style="list-style-type: none"> 他の地域の記述と合わせるため
35	地域別構想 東部地域 (P.90)	<ul style="list-style-type: none"> 以下の取組を追加 「旧高橋家住宅等の地域特有の資源を生かした、にぎわいづくり」 	<ul style="list-style-type: none"> 他の地域の記述と合わせるため
36	地域別構想 西部地域 (P.100)	<ul style="list-style-type: none"> 以下の取組を追加 「膝折宿等の地域特有の資源を生かした、にぎわいづくり」 	<ul style="list-style-type: none"> 他の地域の記述と合わせるため

<私らしい暮らし>

	該当箇所	修正内容	修正した理由
36	地域別構想 南部地域 (P.111)	・既存の取組の表現に赤字を修正 「 <u>駅前広場</u> や公園等の公共空間の確保・利活用」	・他の地域の記述と合わせるため
37	地域別構想 北部地域 (P.81) 西部地域 (P.101) 南部地域 (P.111)	・以下の取組を追加 「市街化調整区域での無秩序な開発抑制」	・他の地域の記述と合わせるため
38	地域別構想 北部地域 (P.81)	・既存の取組の表現に赤字を修正 「 <u>北朝霞・朝霞台</u> 駅周辺における地区計画を活用した商業施設等の誘導や利便性の高い公共施設の集約化」	・他の地域の記述と合わせるため
39	地域別構想 北部地域 (P.81) 西部地域 (P.101) 南部地域 (P.111)	・以下の取組を追加 「商業施設等の地域サービスを支える地域ごとの都市機能の適正配置」	・他の地域の記述と合わせるため
40	地域別構想 内間木地域 (P.71) 北部地域 (P.81) 東部地域 (P.91) 南部地域 (P.111)	・以下の取組を追加 「地域の交流の場の創出に向けた空き家・空き店舗の利活用」	・他の地域の記述と合わせるため
41	地域別構想 北部地域 (P.81) 東部地域 (P.91) 西部地域 (P.101)	・以下の取組を追加 「オープンスペースの創出 (駅前広場、道路)」	・他の地域の記述と合わせるため
42	地域別構想 西部地域 (P.101)	・以下の取組を追加 「鉄道高架下空間の利活用」	・他の地域の記述と合わせるため